

副理事長 松尾 研士

八女 J C は、地域への熱い想いをを持った青年が集まり地域発展のため 1959 年に設立しました。設立時は戦後復興の中であり、今よりも苦しい生活であったことは容易に察せられますが、そんな中でも明るい豊かな社会の実現に向けて、先輩諸兄姉は J C 運動に邁進してきました。その想いを受け継ぎ私たちは、少子高齢化や経済の低迷、異常気象による自然災害など多くの課題に向き合い、時代に即した運動を展開していく必要があります。

まずは、私が理事長の一番の理解者となり、その想いをメンバーに落とし込むために、J C 運動や各種大会への参画の意義を伝え、得た情報を共有することで、一丸となって地域の課題解決に取り組んでいきます。そして、地域の未来を担うこどもたちが次世代のリーダーとしての決意を持つために、自信と誇りを育む環境をつくり経験を積むことで、主体性を持ち利他の精神を養う機会を創出します。さらに、八女 J C が運動を永続的に行っていくために、ともに未来を描く仲間を増やし私たちの想いと運動の魅力を発信することで、J C の理念に共感する人財のつながりを拡大します。また、新たなメンバーがモチベーションを高く持ち活躍し続けるために、これまで培った自身の経験や学びを伝え成長の機会を提供することで、個人と組織の力を高めることにつなげます。そして、地域に信頼される存在であり続けるために、行政や各種団体との意見交換を行い、互いの価値を高め合うことで、持続可能な関係性を築き地域貢献に寄与していきます。さらに、有事の際に迅速な対応を取るために、常に当事者意識を持ち続けることで、責任感が醸成し能動的な行動へつなげます。

何事も自分事として挑み、これまでの経験や知識を存分に活かすことで無限の可能性が広がります。J A Y C E E が決意を持って挑み続けることで、地域のリーダーとして更なる成長を遂げ、八女地域により良い変化をもたらし、明るい豊かな社会を実現します。